

2025 年度

ニチイキッズ福島いずみ保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を下記の通り公表いたします。
また、自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月6日（火）～1月31日（土）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月25日（水）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、会議等で定期的に理念の内容を理解し、保育理念に沿った保育計画の作成や振り返りを行っている。
子どもの発達援助	子ども一人一人の発達に応じた関わりを共有し、園全体で見守っていくことを大切に保育を行なった。援助や関わりで悩んだ時には、話し合いの場を持つ時間を作り、職員間でも活発な意見交換が出来た。 食事、排泄の面は、園での様子、家庭での様子を共有し、子どものペースを大事にしながら、家庭との連携を取っていった。栄養士など専門的な職員も相談に加わることで、保護者の安心感にも繋がった。
保護者に対する支援	保護者の子育ての悩みや心配などには傾聴する姿勢で臨み、成長と一緒に喜び合えるよう、園での様子を伝えていくように努めた。保護者の気持ちに寄り添い、園で出来る支援を考え、対応することが出来るように努めた。
保育を支える組織的基盤	キャリアアップ研修や、社内研修（分野別研修、OJT研修）、園内研修で得た内容をアップデートし、他職員との共有に努め、園全体でスキルアップ出来るようにした。不適切保育事例 Q&A は、自分の保育を振り返ると共に、意識づけとなり、園での意識改革がなされてきている。

総評
子ども一人ひとりの発達や特性に配慮し、話し合いを持ちながら保育を行ってきた。子どもの気持ちに寄り添い、安心して過ごせるような保育環境の見直しや、おもいっきり自分を出せるよう言葉かけや支援を行ってきたことで、保育士との信頼関係を深めることが出来た。園行事でのこっそり保育参観では、日頃の園での子どもの姿を見ていただくことで、保護者の安心感に繋げることが出来た。保育の質の向上のために、危機管理や職員一人ひとりの気づきを増やし職員の連携を図っていきたい。